第７回竜王町総合計画審議会　会議録

日時：令和３年１月 25 日（月）19：00～21：15
場所：竜王町防災センター　２階大会議室

１　開　会

２　挨　拶

３　議　事
　第六次竜王町総合計画（案）について

４　その他

５　閉　会

【出席委員】
市岡、井手、勝見、北村、瀧川、谷、谷口、谷村、西村悠哉、西村三代司、松瀬、竹井、森島、石橋
【欠席委員】
吉田
※敬称略、順不同

１　開会

事 務 局：こんばんは。第７回竜王町総合計画審議会を始めます。石橋委員は少し遅れる、吉田委員は欠席とのことです。前回１月 14 日に続き、ご出席いただきありがとうございます。前回まで意見をいただいたものを計画書の形にまとめましたので、本日の意見でさらに補強して、町民へのパブリックコメントを実施し、その意見も反映して良いものにしていきたいと思います。

２　挨拶

事 務 局：開会にあたり、杼木副町長よりご挨拶いたします。

副 町 長：こんばんは。毎週のように出席いただきありがとうございます。２月広報に掲載されるかと思いますが、古株牧場が農林水産祭天皇杯を受賞されたことを紹介しています。竜王町は近江牛の肥育数で県内でもトップクラスとなっていますが、ふるさと納税額では近江八幡市が県内トップとなっており、また県内他市町でも近江牛を

返礼品に加えようとしているなどの動きもあります。こうした競争についても総合計画の知恵として活用したいと思います。竜王町はいちごの生産でも県内上位になっていますが、コロナの影響で苦戦しているところもあります。先日はアウトレットでの直売なども行われていました。また、アウトレットの駐車場を使って、滋賀レイクスターズの試合のパブリックビューイングが行われるなど、工夫した取組も行われています。地の利を活かしていくことも大事だと思います。竜王町に関する情報提供をさせていただきましたが、本日もよろしくお願いします。

事 務 局：ありがとうございます。続きまして、西村会長からご挨拶いただきます。

会　　長：こんばんは。１月２回目となりますがよろしくお願いします。本日はグループワークがないようで、全体でいろいろと意見をいただきたいと思います。副町長から農業の話がありましたが、私も竜王そばをつくっています。令和２年は豊作でしたが、補助金も減ってきていますので、町の方でも検討いただければと思います。本日もよろしくお願いします。

事 務 局：それでは議事に移ります。進行は会長にお願いします。

３　議事

第六次竜王町総合計画総合計画（案）について

【事務局より、資料に基づき説明した】

会　　長：全体の説明をしてもらいましたが、第６回までの意見を反映してまとめていただいていると感じました。前回第五次竜王町総合計画の時よりもみなさんの意見が反映されていると思います。ご意見・ご質問がありましたらお願いします。

井手委員：３ページの最後の方に「希望を持ち続ける」「想いを持ち続ける」の「持ち続ける」という強い言葉が使われており、意思が強い、意識が高い人に限定されているように感じました。普通の人でも希望がかなえられる方が良いのではないでしょうか。また、将来像について、副題がついたことでタイトルとしては良くなりましたが、この部分を何と呼ぶか検討が必要です。将来像を目指していくプロセスが新時代へのチャレンジであるということだと思います。副題を含めて将来像とすると違和感があります。

事 務 局：表現については検討します。副題については、庁内でも将来像を実現するための手段、心意気という捉え方をしています。見せ方については工夫します。

谷口委員：２ページの（４）協働によるまちづくりの３行目に「新たなコミュニティも求められています」とありますが、その前の文章とのつながりに違和感があります。「コミュニティのあり方」とした方が良いのではないでしょうか。また、３ページの２行

目に「まちの個性や将来のあるべき姿、まちづくりの指針としての・・・」とありますが、２文の意味があいまいで不安定に感じます。７ページの土地利用について、「安心・安全を確保することを重視しつつ」とありますが、重点プロジェクトの中でも土地利用の視点からの災害対策の取組ができないでしょうか。河川の付け替えや、跡地の利活用にも関わってきます。10 年、20 年ではできないかもしれませんが、まちとしての考えを持っていた方が、国、県に伝えていきやすいと思います。

副 町 長：日野川改修についても JR のところまで進んできています。方針は令和３年度、４年度で決め、計画を立てて、国に要望していきます。跡地について以前の審議会でも周遊道路等のようなアイデアも出ていましたので、単純な整備だけでなく、検討をしていきたいと思います。

会　　長：全体を通じて意見をいただければと思います。新しい受け皿について鏡北部地域と竜王小学校跡地だけですか。

事 務 局：竜王小学校跡地については、中心核整備に合わせたものです。鏡北部地域については、IBM グラウンド跡地のことで、地区計画により住宅整備ができる状態となっていますが、民間の所有地です。既存資源の活用として、その他の町有地や空き家等の活用としていますが、須恵の町有地などは、住宅整備等、早期にとりかかっていくことが可能だと考えています。

会　　長：須恵の町有地は、ここに入れないのですか。

事 務 局：現時点では明記しづらい状況です。他には鵜川のグラウンドがあります。

谷村委員：若者の定住のために子育て支援などいろいろありますが、今までも言ってきた通り住むところがないのが問題です。この 10 年間でも市街化編入が全然できていません。新時代へのチャレンジとありますが、何にチャレンジするのですか。コンパクトシティ化構想に合わせて、綾戸から小口は市街化にチャレンジするとか、大きなビジョンを出さないといけません。竜王町の開発の課題は市街化調整区域と農振農用地です。チャレンジする意気込みを見せてほしいと思います。

事 務 局：７ページの土地利用について、中心核における竜王小学校の移転新築等はすでに地元にも入って説明を始めており、2025 年開校を計画しています。その際、農振除外の手続きをしていくこととなり、小学校跡地への住宅地整備については市街化編入をしなければなりません。市街化編入は 20ha 以上という要件があるため、役場、平和堂、小学校、幼稚園の跡地を合わせて編入していくことを考えています。順を追っていかなければなりませんが、これがまちチャレンジだと思っています。

谷村委員：そういうことをきちんといれたらどうですか。

事 務 局：市街化編入などについて、チャレンジしていくという表現についても検討します。

谷村委員：民間の力、ノウハウを借りるまちづくりが必要です。まちで文教ゾーンをつくっていくというだけでなく協働することが第一歩となります。

事 務 局：わかりやすくなるよう補強します。

井手委員：グループワーク中では、竜王町は住みやすいし、良いところがいっぱいあるが、知られていないため、発信力を向上すべきという意見が出ていました。それがあまり出てきていないように感じます。何らかの形で明記する方が良いと思います。

事 務 局：重点プロジェクトの中で記載していますが、基本構想においても位置づけを検討します。

井手委員：観光視点だけでなく、子育て世代へのアピールが必要です。

事 務 局：基本構想部分にも表現を入れていきたいと思います。まちづくりの考え方のところでも良いかもしれません。

北村委員：重点プロジェクトの中で特色ある教育について、体験教育を取り上げてほしいと思います。団地の子どもにとって田んぼと触れ合えるのは良い機会となっていますし、学校ではその他にもたくさんの体験の場があります。また、家庭や地域との連携強化について、コミュニティスクールをやっていますが、その他の関わっていける場所も入れて連携していけないでしょうか。

事 務 局：チャレンジウィーク等も特色ある体験にあたると思いますので、わかるように表現していきます。

勝見委員：将来人口の部分について、目標人口が切りのいい数字となっています。新規住宅開発の部分は10年後に入居できるのでしょうか。

事 務 局：数値については、すべて完成したらということです。

勝見委員：10 年後にこの人数がすべて入居するのは難しいと思います。この受け皿を組み込むのがいかがなものかとも思います。記載するなら 2030 年の段階でどれくらいを見込むのか、目標人口をもう少し細かく表現した方が良いと思います。例えば 300 人プラスで 10,900 人でも良いのではないでしょうか。重点プロジェクトについて、縦割り感が強いと思います。日野川改修に合わせた道路整備なども以前の審議会の意見としてありました。スポーツについても④と⑦に出てきます。子育て支援とコミュ

ニティなども関連させることができます。基本施策と重点プロジェクトの関連、SDGs との関連など、プロジェクトの効果はいろいろある方が良いと思います。先端技術の導入について、町内で携帯電話の電波が入りにくいところがあるので、そういう整備についても盛り込んでほしいと思います。

事 務 局：意見について参考にさせていただきます。目標人口については、数値の根拠を示したいと思います。重点プロジェクトについては、５年間で組織横断的・重点的に取り組むことについて練り上げていきます。

瀧川委員：若い人に向けて町全体として安く広い家に住めるとか、開発業者についても町で条件をつけるなどが必要だと思います。町有地を売り払うだけでは芸がありません。

市岡委員：居住ゾーンについて、ダイハツの寮を出た人など、安いところに住めたらという人もいると思います。集合住宅もあればもっと人口が増えるのではないでしょうか。

事 務 局：説明を聞きながら６ページの記載について「集合住宅の整備」と書き足していました。町有地の利活用については集合住宅も検討しています。小学校の跡地は戸建て、幼稚園の跡地は集合住宅としてもよいかもしれません。松が丘の入り口の集合住宅は入居率も高くなっており、出生率も高いとのことです。

森島委員：今までの意見を取り入れていただいていると感じます。10 年後の竜王町は今の町民だけでは成り立たず、新しい人に来ていただかないとというのが全体の意見でした。実現するためには何が必要か、それをどのように発信していくかが大事です。将来の姿について、「チャレンジ」とは何であるかが重要です。土地利用ではハードのプラットフォームを整備し、民間を力を使うことが必要で環境を作れば勝手に使ってもらえるように進めないといけません。ソフトのプラットフォームという意味では５Ｇとか、デジタル化、SDGs、カーボンゼロなどを掲げ、発信していかないといけないと思います。また、「麗しい」は平仮名の方が良いと思います。

石橋委員：豊かさ、やさしさ、つながりの基本施策でチャレンジはあるのでしょうか。先端技術とか循環型社会など、一部あるかもしれませんが他は一般的なことしかありません。カーボンニュートラルなど、若者が来てもらえるようなものがあってもよいと思います。トヨタがつくる「ウーブンシティ」は何でもやってよいという呼びかけをしているそうです。ハードの土地利用でも、そういうことができるのではないでしょうか。新時代という言葉もあるので、何がチャレンジかわかるようにした方が良いと思います。

事 務 局：豊かさ、やさしさ、つながりのそれぞれの中に入れていきたいと思います。

北村委員：縦割り感について、「柱」とするからそうなるのではないでしょうか。全部つながっ

ているようなイメージにもっていけませんか。

事 務 局：「玉」という表現をする場合もあり、そうすると重なる部分も表現できます。

松瀬委員：将来像の若者も暮らしたいについて、もう少し具体的でもよいのではないでしょうか。重点の３本について交通不便や商業施設がないことは解消するわけがありません。豊かさでは 10 年後にこうなるという姿として道路網や住む場所がどうなるとか、やさしさでは子育て支援や災害のない安心して暮らせるまちになるとか、つながりでは人がしっかりでてくると良いと思います。重点プロジェクトでは、具体的に 10 年後にはこうなるというのが見える方が良いと思います。

事 務 局：重点プロジェクトは同列で書いていますが、特化したものをチャレンジプロジェクトのようにしてもよいかもしれません。

谷口委員：プロジェクトの案を確認するときに、①についてチャレンジに値する取組があるかというチェックをしたら良いと思います。

谷村委員：トヨタの事例もありましたが、大手ゼネコンが地域の再開発に力を入れているという話を数年前に聞きました。竜王町の特性を理解してもらいながらそういうところからも民間のノウハウを活用すべきだと思います。

瀧川委員：国がやる前にやっても良いと思います。子育て世帯への自動車の事業は企業の協力でできているものです。子育て支援では滋賀県１位、家も準備するし、教育にもお金を出すなど、チャレンジとしてそれくらいしても良いと思います。町民も「できるのか？」と思うようなチャレンジが一つでもほしいです。

事 務 局：若者が「住みたい」というような目玉があればということだと思います。

瀧川委員：３人目の子どもにお金がかかるという話を聞きます。以前、政治家で言っている人もいましたが、第３子への支援という面で考えられないでしょうか。ソフトバンクでは多子世帯への手当が厚いという話も聞きました。

北村委員：中学生まで医療の受給券が使えるのは他市町よりも優れています。もっと上手にアピールしてはどうでしょうか。高校生までにするとか考えられます。

谷村委員：彦根市の住民が子育て支援が手厚いということで、豊郷町に移ったという話を聞きました。

北村委員：竜王町の規模だからできることがあると思います。

谷委員：医療費もそうですが、コミュニティスクールは PR すべきだと思います。また、今やっていることだけでなく、プラスを語らなければいけません。

西村悠委員：竜王町は住む場所がありません。結婚しても集合住宅に住むことが多いです。コンパクトシティ化構想で中心に集めるだけでなく、周辺にスーパーがあるなど、バランスが大切です。松が丘の人で、コインランドリーがないという話も聞きました。そういうちょっとしたことがあっても良いと思います。

竹井委員：30 の基本施策について、その下につながる具体的な内容をどうするかが重要です。例えば竜王少年野球は町から補助があるとか、そういうことがあれば他所からも注目されるのではないでしょうか。高齢者福祉についても長生きするようにスポーツをやっていますが、ゲートボールの参加者も減っています。ダイハツＯＢの皐月会ではグランドゴルフをやっていて、会社から補助が出ており、100 人くらい参加しています。具体的なことをやっていくのが大事だと思います。

会　　長：意見を踏まえて、できるだけチャレンジしてほしいと思います。

事 務 局：バランスをとりながら少し上を見ていかないと思っています。将来像について、これで良いか本日共有していただければと思います。

会　　長：将来像について、よろしいでしょうか。

→異議なし

会　　長：10 年後の結果だけでなく、毎年１回でも進行状況を示してもらいたいと思います。この会議での検討は２月で締めていくことになりますが、その後についてもよろしくお願いします。

４　その他

事 務 局：本日の資料に意見シートをつけていますので言い足りないことがありましたら提出してください。本日の意見を踏まえて基本構想の表現等について検討していきます。その後、２～３日中に町民意見をうかがうためパブリックコメントを実施します。審議会としては、次回２月 10 日に開催し、パブリックコメント意見を踏まえた基本構想と、基本計画を示す予定です。２月 17 日には全体を通じて確認いただき、答申をいただきます。その後、今年度中に議会への上程を行います。

事 務 局：閉会にあたりまして、勝見副会長からご挨拶をいただきます。

５　閉会

副 会 長：本日はグループワークがなかったので、意見が出るか心配していましたが、たくさんの意見が出て、とても良かったと思っています。事務局には宿題がたくさんあると思いますがよろしくお願いします。残り２回となりますが、よろしくおねがいします。

事 務 局：総務主監からご挨拶を申し上げます。

総務主監：遅くまでありがとうございます。本日のキーワードは「チャレンジ」だと思います。それが見えるようにつくっていきたいと思います。計画書そのものを若い人にわくわくして見てもらえるようにしていきます。縦割り感など、改めて気づかされるご意見もありました。どれも貴重なご意見として参考にさせていただきます。パブリックコメントを出していきますので、お知り合いの方にもご紹介いただければと思います。残り２回となりましたが、みなさんのお知恵をいただき良いものにしていきたいと思います。本日はありがとうございました。